

大野市文化財保存活用地域計画策定の進捗状況について

生涯学習・文化財保護課

1 進捗状況

策定協議会の開催 令和元年度・2回（内1回は書面開催）、令和2年度・3回
令和3年度 第6回協議会 8月2日（月）

協議内容

- ・文化財保存活用の現状と課題の整理、対応方針の検討、関連文化財群の検討

《素案抜粋》

○保存活用の基本理念

『文化財を生かした人づくり・まちづくり』

大野市の歴史と伝統を示す地域資源と、地域資源を構成する文化財を継承しつつ、人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。

○整理した文化財に関する課題

・【保存】に関する課題

住民の高齢化や減少により、文化財保護の意識低下や後継者の減少、管理不足によるき損や滅失、防犯や防災対応の弱体化などに伴う文化財への影響が懸念され、保存・継承する新たな担い手の確保が課題として挙げられます。

・【調査研究】に関する課題

市内の歴史文化を物語る貴重な文化財の保護に向け、文化財の内容や価値を把握するための調査を進めていく必要があります。

・【活用】に関する課題

現在の活用は、限定された施設や文化財を主としたものであることから、未指定文化財を含むさまざまな文化財について活用方法の検討を進めていく必要があります。

○対応方針

① 作成したデータベースを基に市内の文化財について系統的かつ計画的な調査を進め、文化財の価値の把握と掘り起こしを進めます。【対応：保存、調査研究、活用の課題】

- ・文化財の調査、資料の収集

② 把握した文化財の価値に基づき、指定文化財の上位指定や未指定文化財の指定、「おおの遺産」認証などを行います。【対応：保存の課題】

- ・文化財の指定や登録、おおの遺産の認証

③ 文化財の盗難や防災に向け、所有者の防災への意識の醸成を図るとともに、災害復旧に向けた体制整備を進めます。【対応：保存の課題】

- ・文化財のパトロールの実施、文化財防火訓練の実施、指定文化財やおおの遺産への補助

- ④ 次代の大野市を支える児童・生徒の郷土愛及び文化財愛護意識の醸成に向けて、現在の校外学習以外に、大野市の文化財を授業に取り込んだ独自の教育プログラムの作成を関係機関とともに検討していきます。【対応：保存、活用の課題】
- ・学校への出前授業、実物に触れる機会の提供、子ども向け歴史イベントの実施
- ⑤ 市民の大野市の文化財に対する関心や保護意識の醸成が図れるよう、現在の講演会活動を中心とする取り組みとともに、来訪者が楽しく文化財に「見て・触れて・学べる」機会の創出を進めていきます。【対応：保存、活用の課題】
- ・文化財の発信（ホームページやSNS）、文化財標柱の設置、特別展・企画展の開催
- ⑥ 民俗芸能をはじめとする地域の歴史文化を色濃く反映する無形民俗文化財の保護に向け、後継者育成支援とともに映像による記録化を進め、広くその価値を周知します。【対応：保存、調査研究、活用の課題】
- ・無形民俗文化財の記録保存、保存団体への支援
- ⑦ 文化財を観光や地域づくりに活用できるよう関係機関と調整を進め、新たな取り組みを検討します。【対応：活用の課題】
- ・越前大野城や武家屋敷の観光活用の促進、歴史文化施設間の周遊
- ⑧ 文化財を保存・継承する担い手を確保するため、関係機関と調整し、新たな人材づくりについての取り組みを検討します。【対応：保存、活用の課題】
- ・無形民俗文化財関係団体の意見交換の実施

○関連文化財群の特徴とテーマ

歴史文化の特徴		関連文化財群のテーマ
①	人と地域がつなぐ 「交流の文化」	<1> 原始・古代の人々の営み
		<2> 町や村に暮らす人々の交流
		<3> 華開く「進取の気象」
②	大野城築城から始まる 「城下町の文化」	<4> 戦乱の時代と大野盆地の城郭群
		<5> 大野城の築城と城下町の形成・発展
③	今も息づく 「祈りと祭りの文化」	<6> 地域に息づく多様な信仰形態
		<7> 受け継がれる芸能
④	自然と共に生きる 「暮らしの文化」	<8> 自然の恵みと暮らし
		<9> 食の営み
⑤	大野に残る 「太古の記憶」	<10> 化石が物語る大地の歴史
		<11> 山と盆地の豊かな自然環境

3 今後の予定

(第7回協議会での協議内容)

- ・対応方針を達成するための実施事業の検討
- ・推進体制の検討